板一中　小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）

板二だより

学校情報化優良校　・ユネスコスクール認定校
板橋ｉカリキュラム活用実践校（読み解く力）
ユネスコ無形文化財（和食）に関するモデル授業校

板二小ホームページ　QR

令和５年５月３１日
板橋区立板橋第二小学校
校長　　小澤　裕行
令和５年度　６　月　号

日々の活動から…

副校長　矢島　洋

学校での教育活動の変化

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「２類相当」から季節性インフルエンザと同じ「５類」に引き下げられたことにより、板橋区でもガイドラインが廃止されました。そのことに伴い、学校での教育活動もだいぶ変化しました。音楽科では、合唱したり、リコーダー等の楽器を演奏したりすることが増えました。ここ数年できなかったことが出来るようになってきたからこそ、行事や教育活動のよさを見直して取組みを進めています。

車いすラグビー（４年生）

５月１日（月）にパラスポーツ「車いすラグビー」の体験教室を行いました。日本代表の選手をお迎えして、実際に競技用の車いすに乗る体験をしました。子供たちは始めはおそるおそるでしたが、ルールを知り、ボールを使いながらゲームを行い徐々に楽しむことが出来るようになりました。そして、間近で選手の方々がプレイする姿を見て、その迫力に驚きと感動の思いが同時に起こっていました。４年生は、実際に選手と交流したことで、「車いすラグビー」を観戦に行った時に応援に熱が入ることでしょう。

たてわり班活動を行って

５月１８日（木）に３年振りにたてわり班活動を行いました。板二小は全校で２００人弱の児童数です。多くの子供たちが顔見知りですが、１～６年生がたてわり班で集まって遊ぶことが楽しかったようでした。「フルーツバスケット」「クイズ」「いす取りゲーム」等、第１回目ということでどのグループも室内での遊びでしたが、教室に戻ってからもしばらくの間、楽しかった思いが続いていてざわついていました。リーダー役の６年生は１年生のお迎えから始まり、ゲームの説明、進行など責任をもって行いました。その姿に最高学年としての頼もしさを感じました。終りを知らせる放送が流れると残念そうな声が聞こえ、次回のたてわり班活動を楽しみにしている思いが伝わってきました。

アルファベット

先日、３年生がローマ字の学習をしていました。われわれの日常生活を思い返してみると身近なところにアルファベットが多く使われていることに気付きます。方位を表したり、サイズを表したり…小学校の外国語活動の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す」とあります。身近にたくさんのアルファベットが使われている社会だからこそ、外国語で話す活動に慣れ親しめるように学習を行っていきたいです。

板二小の子

感染症対策で教育活動が制限されていた状態から「パラスポーツ体験」「たてわり班活動」等様々な活動が出来るようになり、改めて日々の生活を見直す２カ月が過ぎました。その中で板二小の子供たちは、人を思いやり大切にすることができると感じています。これからも、日々の教育活動（学習）を通して様々なことを考えさせ、もっと自分たちのよさやできることを見つけさせていきたいです。